

第 26 回生体生理工学シンポジウム (BPES2011) 開催要項

同シンポジウム実行委員長 牧川方昭 (立命館大学理工学部)

1. 趣旨:

“生体生理工学システム”とは、制御の立場から生体のメカニズムを明らかにすると共に、システム、制御工学の成果を健康・医療・福祉に応用することを目的とした学問であり、年に 1 回、この分野の研究者が一堂に会し、シンポジウムを開催している。今回は第 26 回に当たり、下記の要領で生体医工学領域に実績があるびわこ南部地域で本シンポジウムを開催することとなった。

なお、同期日、同会場で日韓で毎年相互開催している第 8 回 International Conference on Ubiquitous Healthcare (uHealthcare 2011)を開催するが、両シンポジウムの参加者は両シンポジウムを聴講できることとなった。

以上の 2 つのシンポジウムの開催によって、広くびわこ南部地域の滋賀医工連携ものづくりクラスター事業を広く国内外に知らしめることができる他、地元大学、企業へのこの分野の国内外の成果を知らしめる絶好の機会を提供したい。

2. URL: <http://www.bmre.ritsumei.ac.jp/bpes2011>

3. 期日: 2011 年 9 月 20 日 (火) ~ 22 日 (木)

4. 場所: 立命館大学びわこ・くさつキャンパス ラルカディア棟 (スポーツ健康科学部) (滋賀県草津市野路東 1 - 1 - 1)

5. 主催: 計測自動制御学会システム・情報部門

企画: 計測自動制御学会システム・情報部門生体生理工学部会

協賛:

映像情報メディア学会、応用物理学会、システム制御情報学会、情報処理学会、人工知能学会、精密工学会、電気学会、電子情報通信学会、日本医療機器学会、日本医療情報学会、日本生体医工学会、日本音響学会、日本機械学会、日本神経回路学会、日本神経科学学会、日本生体磁気学会、日本生物物理学会、日本生理学会、日本体育学会、日本体力医学会、日本人間工学会、日本リハビリテーション医学会、日本リハビリテーション工学協会、日本臨床神経生理学会、日本ロボット学会、バイオメカニズム学会、ライフサポート学会、Japan Chapter of IEEE Engineering in Medicine and Biology Society、West Japan Chapter of IEEE Engineering in Medicine and Biology Society、日本生体医工学会関西支部

後援:

公益財団法人滋賀県産業支援プラザ、立命館大学スポーツ・健康産業研究センター

6. 参加費 (論文集を含む):

主催・協賛学会員: 10,000 円、会員外: 12,000 円、学生: 5,000 円、学生 (論文集なし): 2,000 円

ただし、特別講演は無料

7. プログラム概要: 別紙の通り (uHealthcare 2011 と共通)

第 8 回 International Conference on Ubiquitous Healthcare (uHealthcare 2011) 開催要項

同シンポジウム実行委員長 牧川方昭(立命館大学理工学部)

1. 趣旨:

日本と韓国は健康工学において世界をリードする存在であり,両者が共同でユビキタス・ヘルスケアに関する国際シンポジウムを交互に開催してきた.今回は第8回に当たり,下記の要領で生体医工学領域に実績があるびわこ南部地域で本シンポジウムを開催することとなった.

なお,同期日,同会場で毎年開催している第26回生体理工学シンポジウム(BPES 2011)を開催するが,両シンポジウムの参加者は両シンポジウムを聴講できることとなった.

以上の2つのシンポジウムの開催によって,広くびわこ南部地域の滋賀医工連携ものづくりクラスター事業を広く国内外に知らしめることができる他,地元大学,企業へのこの分野の国内外の成果を知らしめる絶好の機会を提供したい.

なお,本シンポジウムは2011年度第5回立命館大学スポーツ・健康イノベーション研究会を兼ねる.

2. URL: <http://www.bmre.ritsumeai.ac.jp/uhealthcare2011>

3. 期日:2011年9月20日(火)~22日(木)

4. 場所:立命館大学びわこ・くさつキャンパスラルカディア棟(スポーツ健康科学部) (滋賀県草津市野路東1-1-1)

5. 主催:立命館大学スポーツ・健康産業研究センター

共催:日本生体医工学会関西支部

後援:公益財団法人滋賀県産業支援プラザ

6. 参加費(論文集を含む):

一般:10,000円,学生:5,000円,学生(論文集なし):2,000円

ただし,特別講演は無料

7. プログラム概要:別紙の通り(BPES 2011と共通)

9月20日(火)				
A会場 (BPES)	B会場 (BPES)	C会場 (BPES)	D会場 (BPES)	E会場 (uHealthcare2011)
10:30 - 12:10 1A1 ニューロエンジニアリングI	10:30 - 12:10 1B1 看護工学	10:30 - 12:10 1C1 生体生理工学のスポーツ・健康分野への応用 I	10:30 - 12:10 1D1 生体メカニズム	
12:10-13:00 休憩 (昼食)				
13:00 - 15:55 1A2 ニューロエンジニアリングII	13:00 - 14:40 1B2 電気生理運動学 休憩	13:00 - 15:55 1C2 生体生理工学のスポーツ・健康分野への応用 II	13:00 - 15:40 1D2 クリニカルエンジニアリング	主催者接務 13:10 - 15:40 1U1 生体計測 I
休憩	15:40 - 18:10 1B3 スポーツ健康科学から探る生体メカニズム	休憩	休憩	休憩
16:10 - 18:15 1A3 ニューロエンジニアリングIII		16:10 - 18:15 1C3 再生医療と細胞の計測技術	16:00 - 18:00 1D3 生体計測	16:00 - 17:40 1U2 信号解析

9月21日(水)				
A会場 (BPES)	B会場 (BPES)	C会場 (BPES)	D会場 (BPES)	E会場 (uHealthcare2011)
9:00 - 12:00 2A1 ニューロエンジニアリングIV	9:30 - 12:00 2B1 筋音図の計測と解釈	9:30 - 12:00 2C1 健康支援とQOL向上のための計測技術	9:15 - 12:10 2D1 ニューロリハビリテーションと運動制御	13:00 - 15:30 2U1 生体計測III
13:00 - 14:40 2A2 ニューロエンジニアリングV	12:00 - 13:00 休憩 (昼食)	13:00 - 14:40 2C2 致死性/難治性疾患における制御治療の可能性	13:00 - 14:40 2D2 脳機能	休憩 (昼食)
休憩				
15:00-18:30 特別講演				
休憩				
18:50-20:00 懇親会				

9月22日(木)				
A会場 (BPES)	B会場 (BPES)	C会場 (BPES)	D会場 (BPES)	E会場 (uHealthcare2011)
10:20 - 12:00 3A1 生物リズム現象モデリングの現在	9:30 - 12:00 3B1 ニューロ・ロボティクス I	9:30 - 12:00 3C1 脳計測と脳機能解析	13:00 - 15:40 3C2 リハビリテーション工学	9:30 - 11:35 3U1 臨床応用
13:00 - 15:50 3A2 「いつでも・どこでも高度先端医療」を実現する診断・治療技術の開発研究(びわこ南部地域)	12:00 - 13:00 休憩 (昼食)			主催者接務
	13:00 - 15:30 3B2 ニューロ・ロボティクス II	9:30 - 12:00 3D1 ヘルスケア	13:00 - 15:40 3D2 姿勢と歩行	